



Aichi Sky Expo



愛 知 県
国 際 展 示 場
コ ン セ ッ シ ョ ン



1. 愛知県におけるPFI導入実績

2023年8月までに、県営住宅、浄水場等PFI方式により
27事業を実施

展示場の他、ゴルフ場、有料道路、スタートアップ支援拠点、
新体育館等特徴的な事業を実施

事業名	愛知県スタートアップ支援拠点整備等事業
企業名	STATION Ai株式会社
スキーム	BTコンセッション方式
運営期間	10年(2024年10月開業)



事業名	愛知県新体育館整備・運営等事業
企業名	株式会社愛知国際アリーナ
スキーム	BTコンセッション方式
運営期間	30年(2025年夏開業)



2. Aichi Sky Expoの設置目的



【産業首都愛知の新たな交流・イノベーション拠点の創造】

- 愛知県の産業集積・特性を活かし、展示会を通じた新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実など、**当地域の産業振興・経済発展**に資する
- 国際空港直結型の特色を活かし、国内外からの集客を図り、首都圏に並ぶ**交流拠点**を目指す

3. Aichi Sky Expoの概要

所在地

空港島(常滑市セントレア5丁目)

敷地面積

約28ha

施設規模・内容

延べ床面積 約9万㎡
展示面積 6万㎡

整備事業者

(株)竹中工務店

開業日

2019年8月30日



特色① 日本初の国際空港直結型の展示場

アジアを中心に海外、国内主要都市からのアクセスは抜群

特色② 日本唯一の常設保税展示場

海外出展者の関税や消費税などの負担軽減を図る

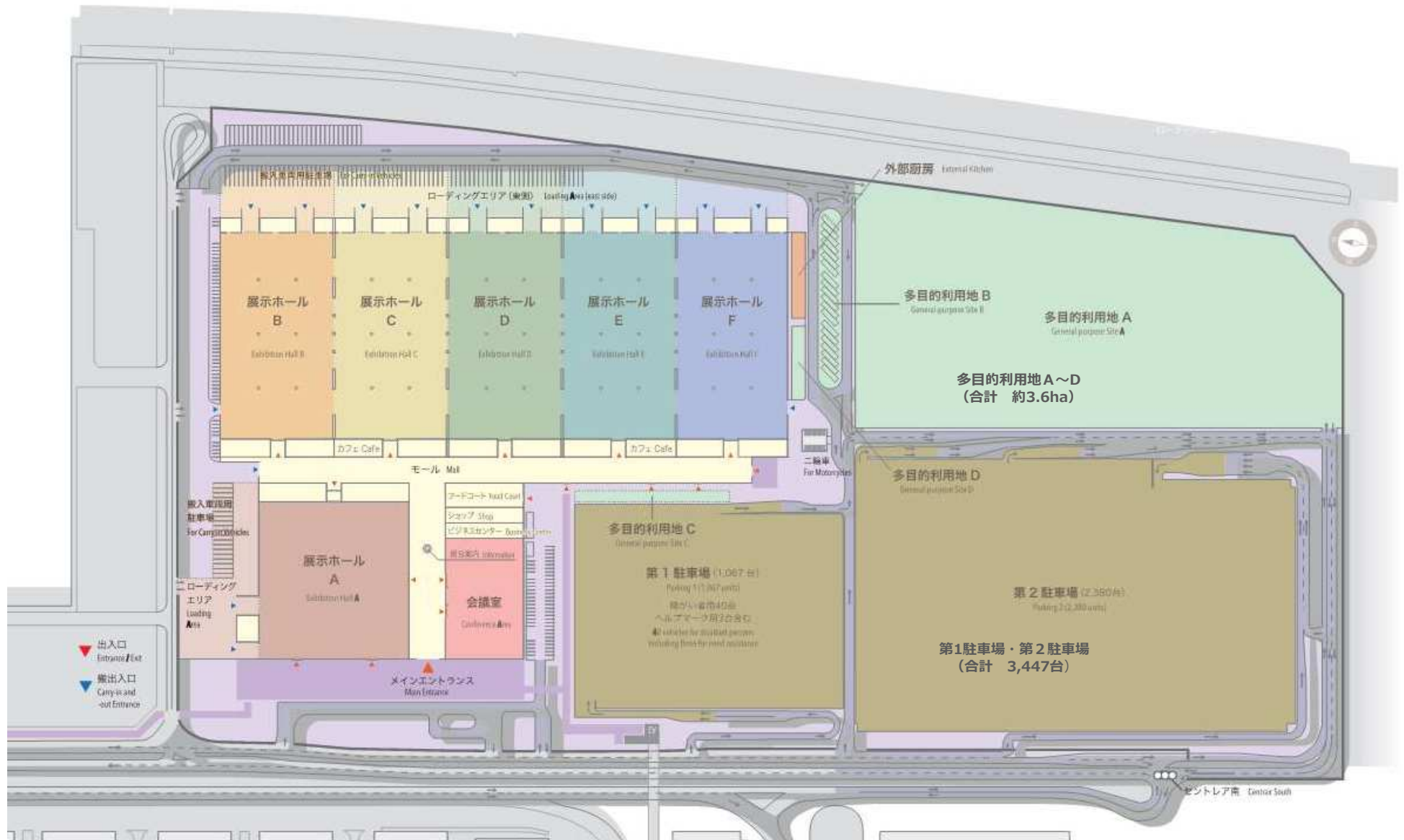
特色③ 展示場(運営)として初のコンセッション方式を採用

民間事業者の創意工夫をより強く引き出し、ローコストで高いサービス水準を実現

メインエントランス外観

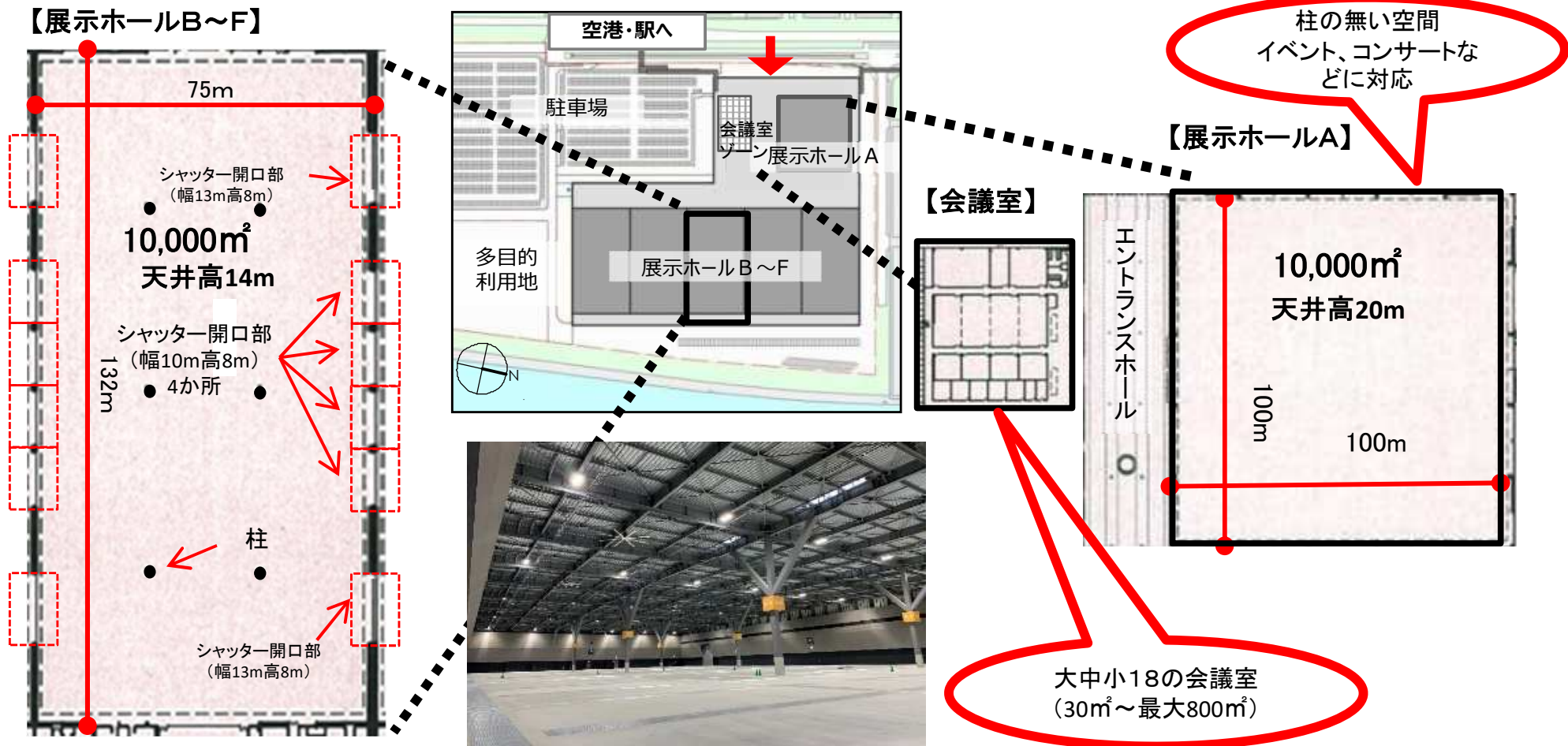


4. 施設配置図(①全体)



4. 施設配置図(②展示ホール、会議室)

- 展示ホールAは天井高さ20mの柱の無い空間とし、コンサート等の多目的利用が可能
- 展示ホールB~F(天井高さ14m)はシャッター開口を6箇所設置、50,000㎡が一体的に利用が可能(国内最大規模)
- 会議室はエントランスホールに隣接して大中小18室を設置



5. Aichi Sky Expoのアクセス

- 国内の主要展示場と比較して、鉄道・自動車とも同程度の所要時間
- 国際空港からのアクセスは圧倒的に優位

主要展示場との比較

	Aichi Sky Expo (名古屋駅より)	東京ビッグサイト (東京駅より)	幕張メッセ (東京駅より)	インテックス大阪 (新大阪駅より)
鉄 道	ミュースカイ28分 特急35分 (乗換なし)	約30分 (乗換1回)	快速約30分 (乗換なし)	約40分 (乗換3回)
自動車	約30分	約20分	約45分	約45分
空 港	徒歩圏内 (中部国際空港より)	約30分 (羽田空港より)	約40分 (成田空港より)	約50分 (関西国際空港より)

6. Aichi Sky Expoの開業までの経緯

時期	内容	備考
2016年 2月 3日	大規模展示場整備について構想の概要を公表	
10月 17日	基本設計、実施設計・建設工事の落札者の決定	一般競争入札(総合評価落札方式) 落札者:(株)竹中工務店名古屋支店
12月 22日	愛知県国際展示場条例の制定	コンセッション方式導入
2017年 2月 6日	コンセッションに関する基本的考え方の公表	
4月 26日	実施方針の公表	
7月 7日	募集要項等の公表	
9月 1日	起工式	
12月 21日	優先交渉権者の公表	
2018年 3月 26日	公共施設等運営権の設定議案の議決	相手方:愛知国際会議展示場株式会社
4月 27日	公共施設等運営権実施契約の締結	構成:GL events SA、前田建設工業株式会社
	指定管理者の指定議案の議決	
2019年 3月 20日	愛知県国際展示場条例の一部改正議案の議決	附属設備の使用料の設定、準備行為の規定の整備、 展示ホール・会議室の利用許可の単位の改正
	展示会産業振興基金条例案の議決	運営権対価が納付された後に基金に積立
3月 22日	愛知県国際展示場管理規則の制定	
4月 1日	指定管理者の指定、利用の許可等・利用料金の 收受等の開始	
8月 30日	開業(愛知県国際展示場条例の施行、公共施設 等運営権の効力発生)	開業式典の開催、オープニングイベント

7. Aichi Sky Expoの施設整備

(1) 展示場の施設整備に設計・施工一括方式を採用

2019年秋の開業目標 ⇒ 発注事務期間の短縮
工期短縮と確実な工程管理

事例の少ない大規模建築物、整備費縮減
⇒ 設計段階から施工のノウハウを反映した
合理的、効率的設計



設計・施工一括発注方式(デザインビルド方式)の採用

7. Aichi Sky Expoの施設整備

(2) Aichi Sky Expoにおける愛知県産品の活用



8. Aichi Sky Expoの運営



(1) 展示場の運営の特徴

特徴① コンセッション方式の導入

特徴② 運営権対価を展示会産業の振興に活用

(2) 展示場の運営にコンセッション方式の導入

コンセッション方式（公共施設等運営権制度）

- P F I法に基づき、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式。
- 従来の指定管理に比べ、期間が長く、料金設定の自由度が高いことなどが特徴。
- 運営者による経営の自主性が期待できる。
- 運営権者として実施することができない行政処分等（利用許可等）については、運営権者を指定管理者に指定し、指定管理者として実施させる。



- 民間事業者の創意工夫をより強く引き出し、**ローコストで高いサービス水準を実現**する。
- 県内企業・県民・利用者の利便性向上、運営に当たる民間事業者の収益確保、行政負担の軽減の**「三方良し」の実現**につながる

8. Aichi Sky Expoの運営

(3) 運営事業者(公共施設等運営権者・指定管理者)

愛知国際会議展示場株式会社 (特別目的会社)

AICEC

(Aichi International Convention and Exhibition Center Co.,LTD)

- 愛知県国際展示場は、GL events と前田建設工業株式会社が、2018年1月19日に設立した“愛知国際会議展示場株式会社”(特別目的会社、SPC)が運営している。
- 構成企業である GL eventsは、コンベンションセンターの運営や、イベント主催者へ総合的にサービスやソリューションを提供する世界規模の企業であり、前田建設工業株式会社は、日本におけるコンセッション事業の先駆的企業で、愛知県の有料道路コンセッション事業の運営にも取り組んでいる。



GL events

GL events



前田建設工業株式会社

M A E D A

Maeda Corporation

(4) コンセプションの内容

主な業務内容

- 施設維持管理運営業務
- 附帯事業運営業務(駐車場、売店等)
- 官民連携による需要創造推進業務

運営期間

- 2019年8月30日～2035年3月31日(15年7か月)
(多目的利用地Aは、2024年3月31日まで)

運営権対価

- 約9.5億円(税抜き8.82億円)

(5) 指定管理の内容

業 務 内 容

- ① 展示場の利用を許可すること。
- ② 展示場の利用の許可に条件を付けること。
- ③ 展示場の利用の中止を承認すること。
- ④ 展示場の利用に係る指示をすること。
- ⑤ 展示場の利用の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること。

(多目的利用地Aについては、2024年4月1日以降、上記に加えて、施設の維持、管理及び運営を指定管理の業務内容に含む。)

指 定 期 間

2019年4月1日～2035年3月31日(16年)

(6) モニタリング

1 モニタリング

運営事業者によるセルフモニタリング(毎月報告確認)

2 内部統制

協議会	(年2回)
業務報告会	(年2回)
連絡会議	(月1回)

3 外部統制

弁護士、公認会計士等から成る外部有識者による第三者機関を通じた評価・アドバイス等(年1回)

※ファシリテーターを介した官民諸機関の諸調整により、本事業のガバナンス機能を維持・強化

(7) コンセッションの運営権対価を展示会産業振興の原資に活用

- ▶ 運営権対価(約9.5億円)を原資に

「展示会産業振興基金」を造成

基金を活用した取り組み

- ① 開業当初5年間の事業安定化支援(赤字補てん)
- ② 新たな展示会需要の創造等



官民連携組織「Aichi Sky Expo活性化推進機構」による取組

9. Aichi Sky Expoの利用促進



(1) Aichi Sky Expo 活性化推進機構

構成団体 愛知国際会議展示場株式会社(AICEC)・愛知県

①地域プロモーション事業

- ・県産品PRコーナーの運営
- ・広告掲出

②催事開催支援事業

- ・Aichi Sky Expo利用促進補助金（会場料・シャトルバス運行料）
- ・ウェルカムサポート(Web ページ)の運営

③展示会等企画・開催事業

- ・官民連携組織による新規の展示会の企画・開催を行う

④地域の関係者との連携

- ・Aichi Sky Expo需要創造会議の開催等

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

- ① Aichi Sky Expo COVID-19 感染防止ガイドライン策定
- ② 愛知県国際展示場管理運営事業費運営権者補助金
- ③ サーモグラフィー、折りたたみ型ベッドの導入、多目的利用地の電源・給水機能の強化
- ④ 催事飲食感染防止対策支援事業

9. Aichi Sky Expoの利用促進

(3) これまで開催された主な催事

年度	2019	2020	2021	2022
件数	83	80	97	97
主な催事	<ul style="list-style-type: none"> ・AICHI IMPACT! ・技能五輪／アビリンピック ・名古屋キャンピングカーフェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋ものづくりワールド ・技能五輪／アビリンピック ・国際物流総合展 	<ul style="list-style-type: none"> ・FOOMA JAPAN ・World Robot Summit ・持続可能で強靱な都市・交通に関する国際会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋モーターサイクショー ・ROBOT TECHNOLOGY JAPAN ・高校生ロボットシステムインテグレーション競技会

(4) 2023年、2024年に開催もしくは予定されている主な催事

2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> ・人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA ・Independent Ageing ・技能五輪全国大会・全国アビリンピック ・フェンシング男子フルーレ高円宮杯ワールドカップ ・SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE 	<ul style="list-style-type: none"> ・第124回日本外科学会定期学術集会 ・AXIA EXPO 2024 ・ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 ・人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA ・学生フォーミュラ日本大会 ・FOOD STYLE Chubu 2024